

(財)赤岩公德体財団便り

赤岩公德体財団理事長ご挨拶



理事長:赤岩達重

-「生きる力」を育む-

米国の金融不安に始った今度の世界不況は、瞬時に世界を駆け巡り、世界中の金融資本市場を混乱に落とし入れ、先進国はもちろん、新興国や資源国を含めた世界経済全体を不況の波にさらすこととなった。まさに経済活動はグローバル化が加速し、世界の結びつきは緊密化が著しい。こういった新しい環境の変化に際して、私が一番に念頭に浮かぶのが我が赤岩公德体(財)の理念である「世界に通用する豊かな人格の涵養」についてである、子供たちの育成においてこの「世界に通用する」という事が今後ますます大きな意義を持つことを改めて確信する次第です。

教育行政の末端を汚す役目を仰せつかっている身として毎年小中学校の教育指導要領を興味深く拝見させていただいておりますが、新しい学習指導要領に「生きる力をかくむこと」が理念として引き継がれました、また、「生きる力」とは何かが次のように述べられております。

- ・いかに社会が変化しようと、自ら課題を見つけ、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する資質や能力。
- ・自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性。
- ・たくましく生きるための健康や体力。

我々の赤岩公德体(財)の理念(別掲)もこの生きる力を育むことと非常に密接につながっていることに思い致されるものです。我々はこれをスポーツ活動の支援を通じて微力ながら尽力してまいります。

さて、我々の活動も2年目を迎えております、どう進めていいのか、手探りでやってきましたが、今年は助成金をだささせていただき団体も倍に増やし講演会も昨年以上に充実したものにしていく所存です。「未来からの使者である子供たちを健やかに育てることは現在を生きる我々大人の重大な責務である」というお話を以前お聞きしましたが、今まさに未来世代への責任という使命を果たすべく出来る限りのことに努めてまいります。引き続き皆様方の温かいご意見ご鞭撻をお願いいたします。

平成20年度 活動報告

- 平成20年5月 理事会・評議員会で、第1回5団体の助成を決定
- 平成20年8月 理事会・評議員会を開催、次年度の事業計画及び助成金募集要項を討議
- 平成21年2月 山口良治先生による講演会を開催(参加人数 : 241名)

平成21年度 事業計画

- ・スポーツ少年団助成事業として、10団体へ助成(5月21日(木)に助成金授与式を行いました)
- ・有名スポーツ選手及び指導者による講演会の開催



授与式にて

- 赤岩公德体財団新役員のご紹介 -

理事



氏名 久井 勲
職業 会社役員
年齢 57歳
経歴
S51年 京都大学法学部卒
S51年 日本輸出入銀行 入行
S63年 ベネッセコーポレーション 入社
H18年 ベネッセ子会社ODIC入社 執行役として今日に至る

監事



氏名 玉谷 一幸
職業 農業
年齢 72歳
経歴
S32年 岡山県職員
S37年 佐伯町職員
H6年 総務課長にて退職 今日に至る

評議員



氏名 竹山 健
職業 (株)メイト 業務推進部 長
年齢 56歳
経歴
S53年 早稲田大学卒
S53年 (財)岡山県産業振興財団 入職
H7年 (株)メイト入社 製造部・技術研究部部長を経て今日に至る

平成21年度 助成金 採択団体のご紹介

平成21年度の活動助成金を公募したところ、県内から24団体の申し込みをいただきました。提出いただいた活動状況報告書などから審査・討議し、10団体を採択させていただきましたので、ご紹介致します。



ソフトボール

ドルフィンスポーツ少年団 [日生町]

17名	84試合 (12試合・72試合)
月・水・金・土・日	3時間 95%

行幸スポーツ少年団 [長船町]

62名	50試合 (20試合・30試合)
水・土・日	4時間 95%

石井ソフトボール少年団 [岡山市]

21名	50試合 (10試合・40試合)
土・日	5時間 100%

バレーボール

呂久ハレスポーツ少年団 [呂久町]

8名	50試合 (20試合・30試合)
水・土・日	3時間 99%

本荘ハレボールスポーツ少年団 [和気町]

8名	33試合 (13試合・20試合)
火・土	2~3時間 100%

少林寺拳法

倉敷連南スポーツ少年団 [倉敷市]

23名	3試合 (0試合・3試合)
火・木・土	1.5時間 80%

軟式野球

伊里軟式野球スポーツ少年団 [備前市]

13名	73試合 (55試合・18試合)
火・木・土・日	3時間 100%

バスケットボール

呂久ミニバスケットボールスポーツ少年団 [呂久町]

35名	22試合 (7試合・15試合)
金・土・日 (月2回)	2-3時間 90%

<ご紹介内容>

団体名 [住所]

児童数	年間試合数 (練習試合数・大会での試合数)
練習曜日	1回の練習時間 練習の参加率

剣道

和気武道館 和気剣道スポーツ少年団 [和気町]

20名	6試合 (0試合・6試合)
水・土	1.5時間 90%

軟式野球 バレーボール サッカー

石生スポーツ少年団 [和気町]

26名	野: 42試合 (29試合・13試合)
	バ: 93試合 (46試合・47試合)
	サ: 8試合 (4試合・4試合)
火・木・土	2.4時間 100%

平成20年度 助成団体の活動報告

平成20年度の助成団体は、和気スポーツ少年団 軟式野球部、本荘野球スポーツ少年団、桜が丘スポーツ少年団、佐伯ソフトボールスポーツ少年団、日笠スポーツ少年団の5団体でした。

～スポーツ以外で重視していることの今年度評価～

5団体にスポーツ以外で重視していることについての点数付けを10点満点で行って頂き、それを平均して表したのが右の図です。

20年度の初めと終わりでそれぞれ評価をして頂いたところ、特に

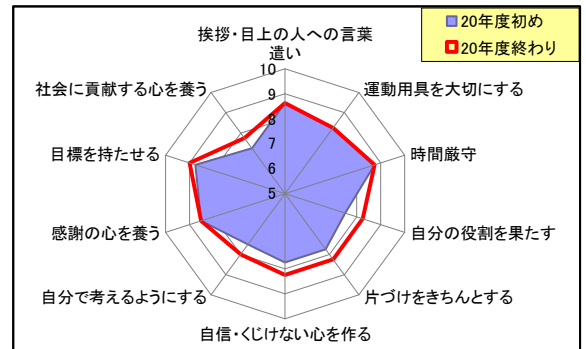
- ・社会に貢献する心
- ・自分の役割を果たす
- ・片づけをきちんとする
- ・自信をつけ、くじけない心を作る
- ・自分で考えるようにする
- 等の評点が上昇していました。

～練習・試合の状況について～

練習日土・日、参加率100%で一日の練習時間約8時間という団体や、練習日火・木・土・日・祝日、参加率90%で練習時間は平日2時間・休日4時間練習されている団体があり、どの団体も時間を惜しまず一生懸命に取り組まれました。

試合数が一番多かった団体は、年間試合数100試合 (練習試合が70試合・大会での試合が30試合) されていました。

また著名な指導者を招き、2度野球教室を開催した団体もあります。これからも日々鍛錬を積み重ね、スポーツを通じて子供たちの可能性を広げていただきたいと思います。



～練習・試合以外の活動～

- ・廃品回収・奉仕作業の実施
- ・地域との交流事業 (グランドゴルフ教室・交通安全講習)



地域の方にグランドゴルフを教えていただき、交流をはかりました。

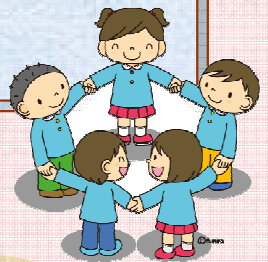


野球教室の様子

赤岩公德体財団が目指す人づくり

理 念

徳育・知育・体育の成長を図るため、スポーツ活動を通じて、世界に通用する豊かな人格の涵養と自ら学び、個性を伸ばし、心身ともにたくましく、社会の発展に寄与し、誇りを持てる青少年を育成する指導者を養成する。



自立する青少年

助け合う・学び合う・鍛え合う



知 育

自らの可能性を信じ、知識・技術の練磨に努め自分を高める努力を重ねる。

徳 育

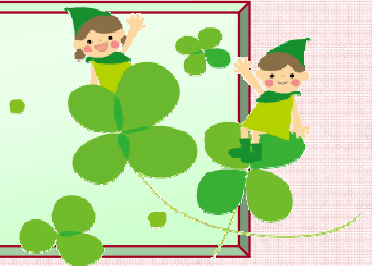
個性を尊重して、社会的規範、感動する心、思いやりや感謝の心など豊かな人間性を身につける。

体 育

スポーツを通じて、他者と協調し、心身の健全な育成につとめ共に生きる。

5つの誓い

1. さわやかな挨拶をします
2. 思いやりと感謝の心を持ちます
3. 率先して、目標に向かって常に努力します
4. 自らの可能性を信じ、知識・技能の習得に努めます
5. スポーツを通じて、心身を鍛錬し自分自身を確立します



有森裕子さん による講演会が決定しました！

元マラソンランナー オリンピックメダリストの有森裕子さんを招いて講演会を開催します。

日時：2010年1月11日(日) 13:00～15:00

場所：和気町学び館「サエスタ」

住所：和気町父井原430 TEL: 0869-88-9110



和気町学び館「サエスタ」



< 有森裕子さんの軌跡 >



1966年岡山県生まれ。就実高校、日本体育大学を卒業して、株式会社リクルート入社。

バルセロナ五輪、アトランタ五輪の女子マラソンで、銀メダル、銅メダルを獲得。アトランタ五輪のゴール後のインタビューで「メダルの色は、銅かもしれませんが、終わってから何でもっと頑張れなかったのかと思うレースはしたくなかったし、今回はそう思っていないし…、初めて自分で自分を褒めたいと思います」と涙ながらに語った姿は感動を呼んだ。

2007年2月18日、日本初の大規模市民マラソン『東京マラソン2007』で、プロマラソンランナーを引退。

現在は、国内外のマラソン大会やスポーツイベントに参加する一方、人道援助を目的としたスポーツNPO「ハート・オブ・ゴールド」の代表理事として、また、国連人口基金の親善大使、スペシャルオリンピックス日本理事長として、国際的な社会活動に取り組んでいる。



バルセロナ五輪でのゴールの様子

(財)赤岩公德体財団便りについて

発行者：(財)赤岩公德体財団事務局

住所：〒709-0514 岡山県和気郡和気町佐伯526-3

TEL：0869-88-0243

担当：入江・竹山

発行頻度：年2回

ご意見・ご感想等ございましたら、こちらまでご連絡をお願い致します。

